



2025年3月17日

各位

会社名 tripla 株式会社  
 代表者名 代表取締役 CEO 高橋 和久  
 代表取締役 CPO 兼 CTO 鳥 生 格  
 (コード番号: 5136 東証グロース市場)  
 問い合わせ先 取締役 CFO 岡 義 人  
 TEL. 03-6276-6553

### 通期業績予想及び上期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月17日開催の取締役会において、直近の業績動向を踏まえ、2024年12月16日に発表いたしました業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想数値の修正(2024年11月1日～2025年10月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益又 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,582	438	428	304	52円71銭
今回発表予想 (B)	2,770	528	528	403	68円75銭
増減額 (B-A)	187	90	99	98	—
増減率 (%)	7.3%	20.7%	23.3%	32.2%	—
(参考) 前期実績 (2024年10月期)	1,867	270	246	209	36円20銭

#### 2. 上期連結業績予想数値の修正(2024年11月1日～2025年4月30日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益又 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,139	97	98	59	10円35銭
今回発表予想 (B)	1,275	245	256	199	33円97銭
増減額 (B-A)	136	147	158	139	—
増減率 (%)	11.9%	152.0%	160.4%	232.6%	—
(参考) 前期上期実 績 (2024年10月期 第2四半期)	765	55	44	26	4円67銭

#### 3. 業績予想修正の理由

日本法人の tripla Book の従量収益が当初計画より大きく上振れたことにより、第1四半期の営業収益全体の実績は、同期間の計画を大きく上回りました。その結果、第1四半期の単四半期の実績は、営業利益125百万円、経常利益147百万円、及び親会社株主に帰属する四半期純利益114百万円となり、上期(第2四半期)累計の営業利益97百万円、経常利益98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益59百万円の計画数値を上回ったため、上期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正が必要となりました。

tripla Book の収益構造は、施設あたりの月額固定課金による固定収益、宿泊や決済の利用の多寡に応じて課金される従量収益の2つに分けられます。従量収益はさらに、宿泊従量課金による従量収益と決済従量課金による従量収益に分けられます。2つの従量収益の額について、取扱高・GMV(Gross Merchandise Value)及びtake rateのいずれも計画を超過した結果、大きく増加となりました。

営業費用については、第1四半期実績は概ね計画どおりに推移いたしました。当社はビジネスモデル上、原価率が低い構造であるため、tripla Book の営業収益の上振れが営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の増加に直接的に寄与いたしました。

第1四半期の実績、2月の実績及び足元のビジネスの進捗を考慮の上、下記のとおり、業績予想を修正することといたします。

当社の日本法人については、営業収益の通期計画を、167百万円増加し、2,291百万円に修正いたしました。tripla Book の増加が当該増加額の大半を占めます。tripla Book 以外にも、当社にはtripla Bot、tripla Connect、tripla Link等の様々なサービスがありますが、これらについては概ね計画どおり進捗しているため、計画の重要な修正はございません。また、上振れた収益の一部を、不正トラベルやセキュリティの強化等への投資に回すことで、よりいっそうのサービスの強化を行うことを計画しております。これらの結果、2025年10月期の修正後の日本法人の計画は、営業収益2,291百万円、営業利益537百万円を見込んでおります。

当社の中核子会社であるインドネシアのtripla BookandLink Indonesia(SURYA JAGAT MANDIRIから2025年2月8日に商号変更。ENDURANCE TECHNOLOGY SOLUTION PTE. LTD.(シンガポール法人)の業績も含む。以下「BookandLink社」と言います。)については、営業収益の通期計画の修正は軽微であります。営業利益(のれん控除後)の計画を17百万円増加し、38百万円に修正いたしました。当社グループ全体のプロダクト開発の一部を、コスト効率化の観点から、インドネシアで実施しているため、第1四半期において、日本法人からBookandLink社に対して、業務委託費の精算を行ったため、通期においてもBookandLink社の利益が増加する見通しです。これらの結果、2025年10月期の修正後のBookandLink社の計画は、営業収益197百万円、営業利益(のれん控除後)38百万円を見込んでおります。

当社の中核子会社である台湾の旭海國際科技股份有限公司(英文名称:Surehigh International Technology Inc. JASON FAMILY TRAVEL SERVICE CO., LTD.の業績も含む。以下「Surehigh社」と言います。)については、第1四半期でSI(System Integration)による一時的な収益及び費用の計上が約49百万円程度発生したため(本件は費用も発生しているため利益に与える影響は軽微であります。)、営業収益及び営業費用が計画に対して増加となりました。また、季節性等の影響を加味いたしました。これらの結果、2025年10月期の修正後のSurehigh社の計画は、営業収益281百万円、営業利益(のれん控除後)▲17百万円、経常利益(のれん控除後)0百万円を見込んでおります。

これらの結果、連結業績について、「1. 通期連結業績予想数値の修正(2024年11月1日~2025年10月31日)」及び「2. 上期連結業績予想数値の修正(2024年11月1日~2025年4月30日)」のとおり修正することを決定いたしました。

なお、合わせて、本書面と同日に開示しております「2025年10月期第1四半期 決算説明資料」をご確認くださいませよう、お願いいたします。

以上